一

正本製
八編 上冊
種彦作
國貞画
文政乙酉
孟春發販

特
へ13
3091
6

新柳島別荘の圖

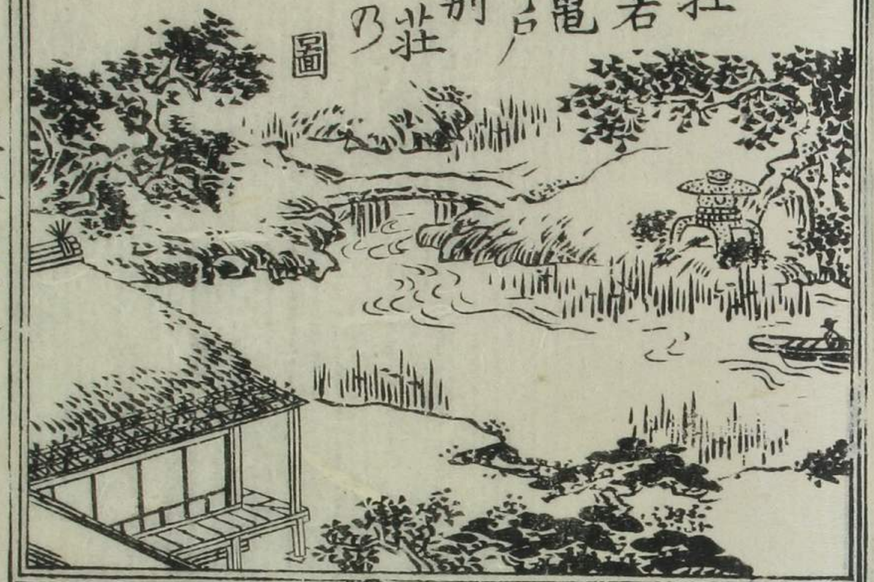
梅幸別荘の圖

寺島松隠居

新柳島別荘の圖

梅幸別荘寺島松隠居の圖

杜若亀戸別荘の圖



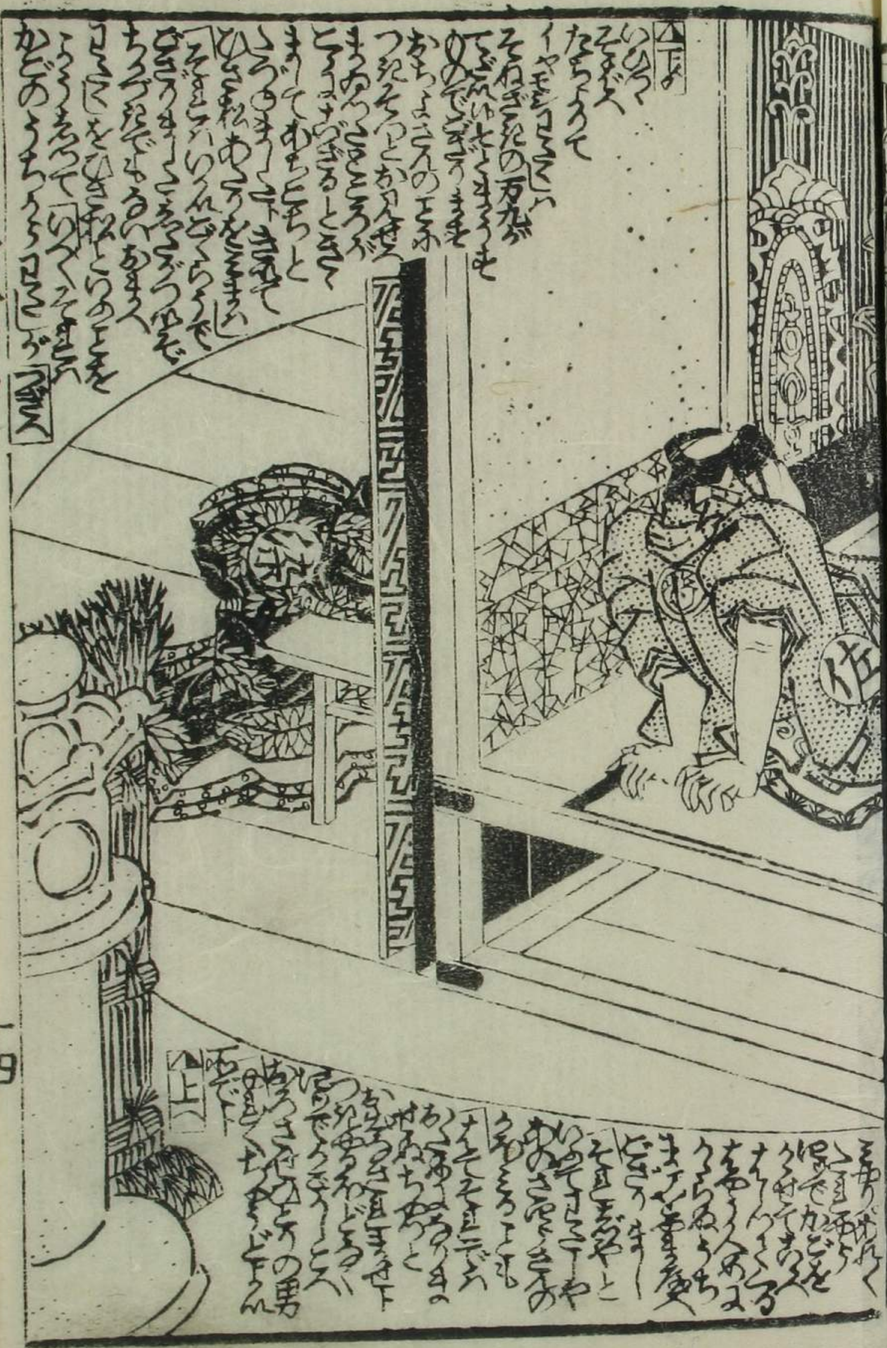
秀佳永木別荘の圖

根岸別荘乃圖
路考

錦絵今戸別荘の圖

艶
深

泥
佐



國貞画種彦作

筆者 千形仲道
彫工 江川留吉

拾
う

太
泥

大入中

あかご

取次所 坂本氏製

別連木

油

種彦作
國貞画

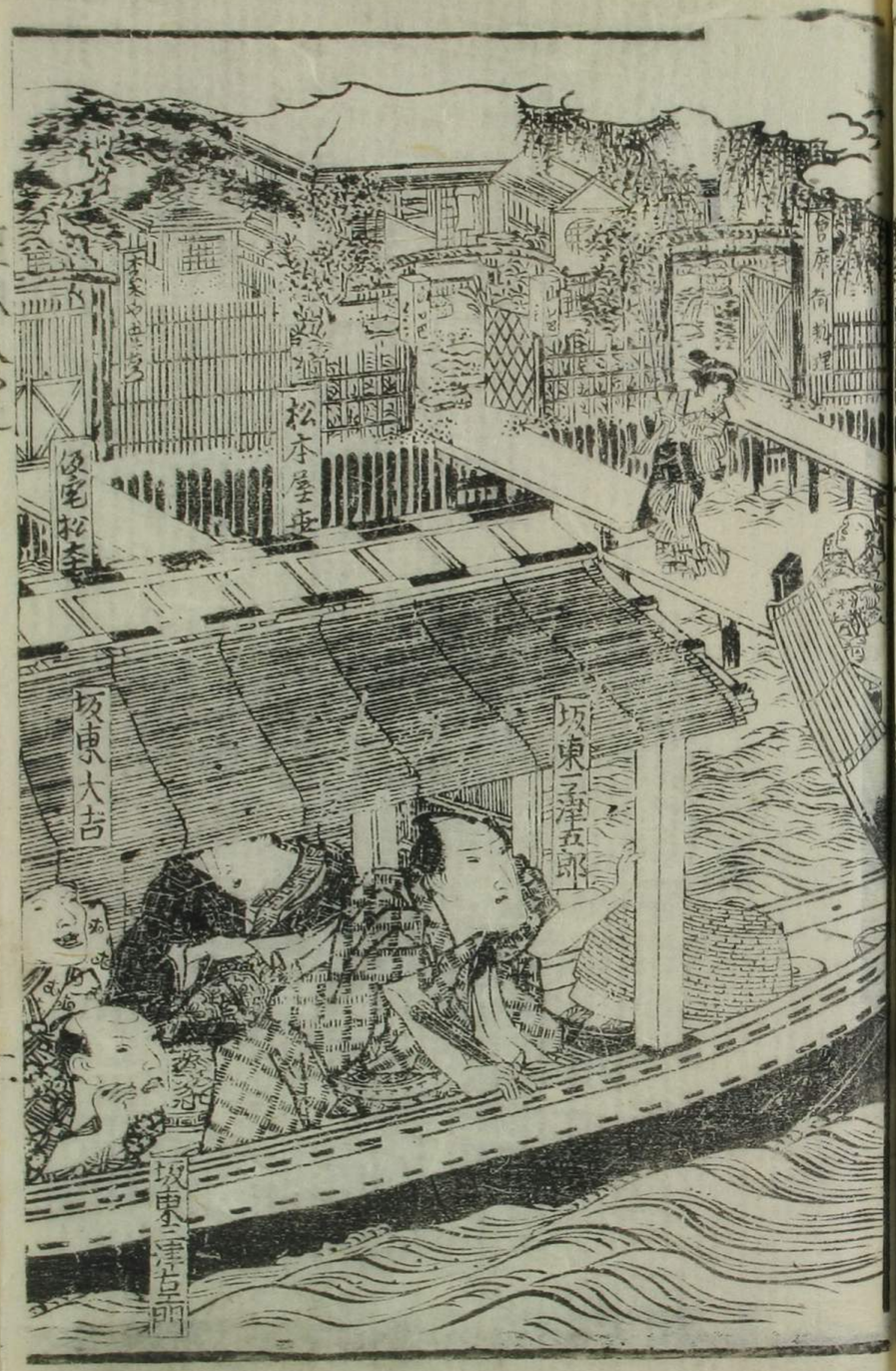
筆耕千形仲道
彫工江川留吉

一

市川三升成田山参詣の図

坂東秀佳

真乳山まるもの圖



尾上梅幸矢弓稲荷詣

坂東善次

音羽助

尾上菊五郎

瀬川菊之丞

大谷門蔵

岩井杜若
堀の内
結

中村傳九郎
岩井紫之郎
洞嶋傳左衛門
岩井半四郎

三枡源之助

浅尾友蔵
市川門之助
岩井紫若

小
民

戦
民

糸
泥

泥
泥

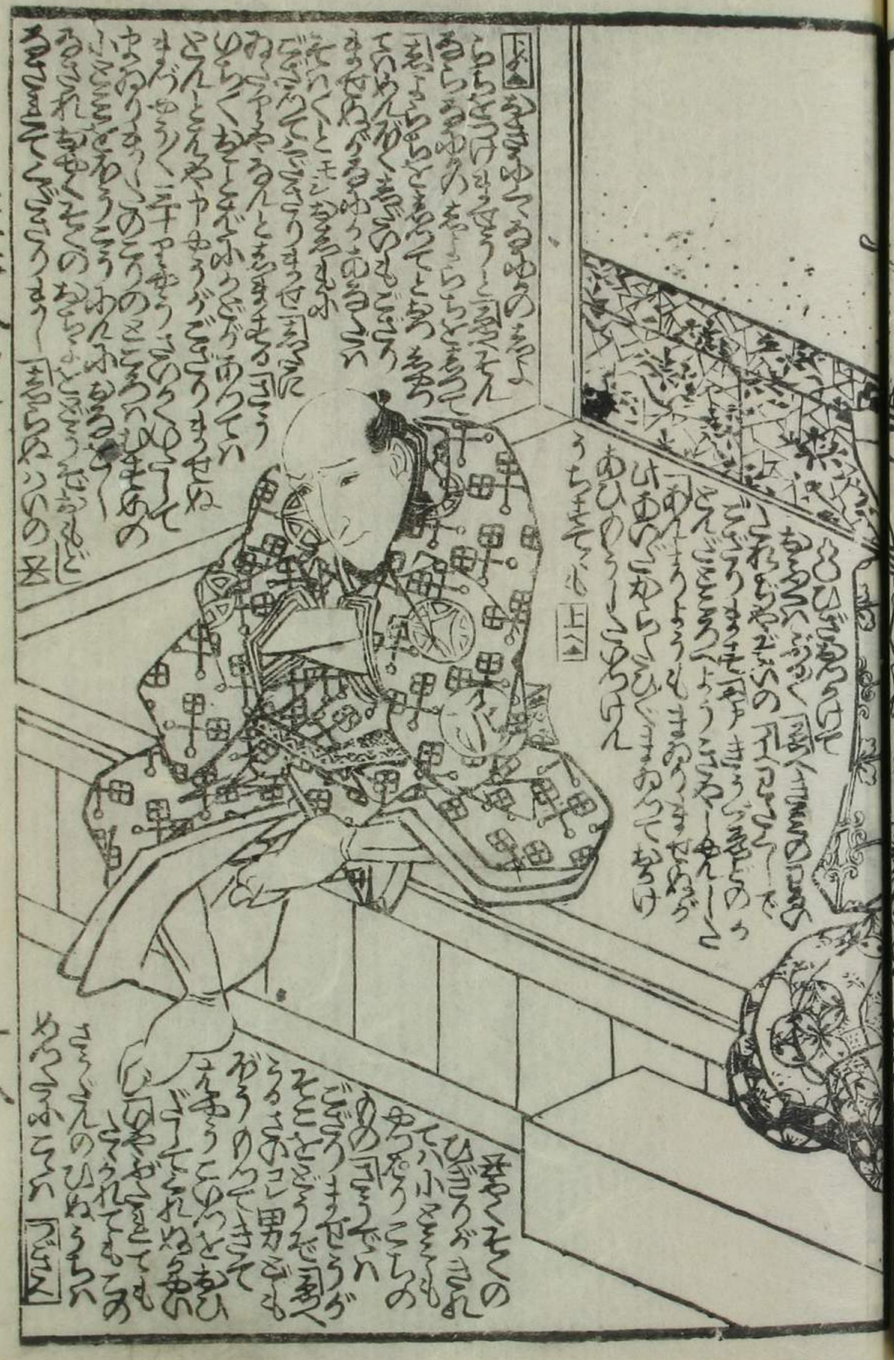
泥

国貞画

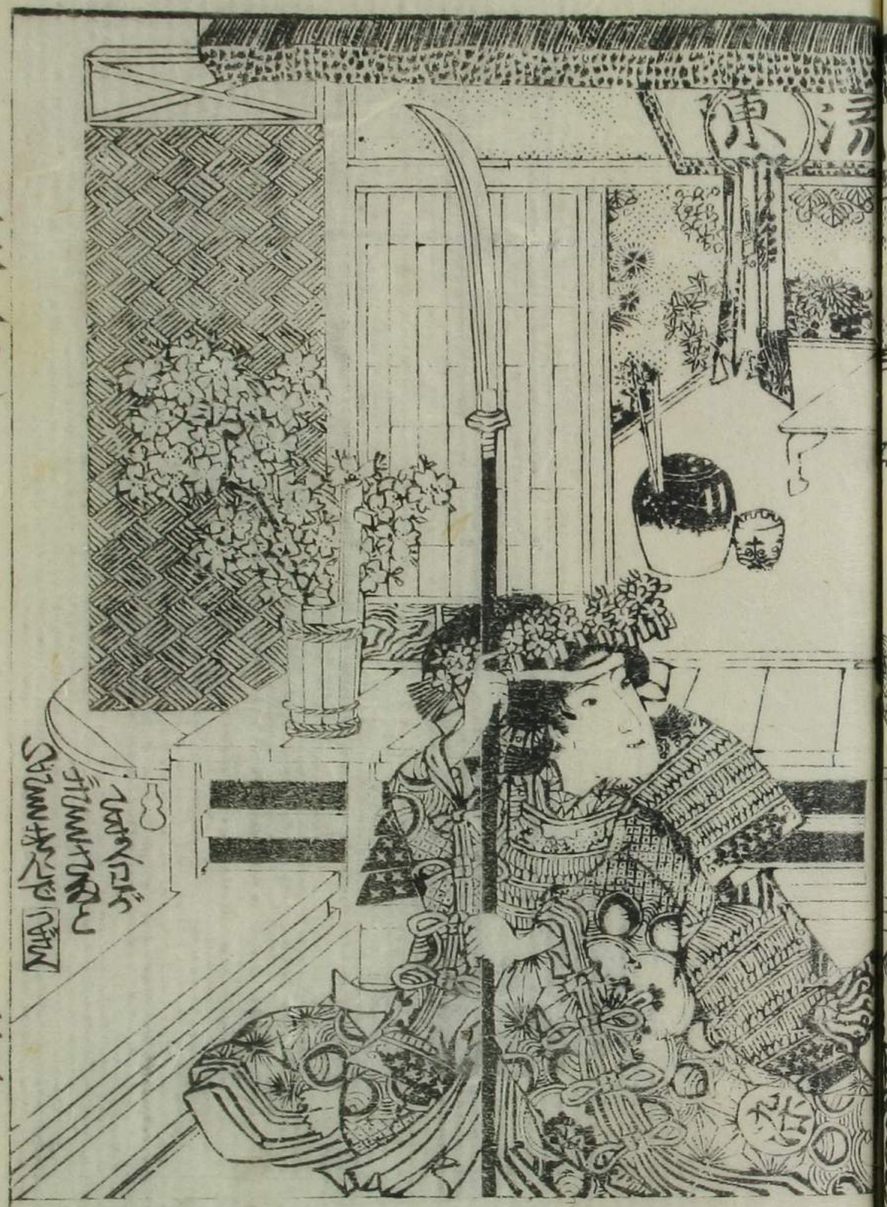
種彦作

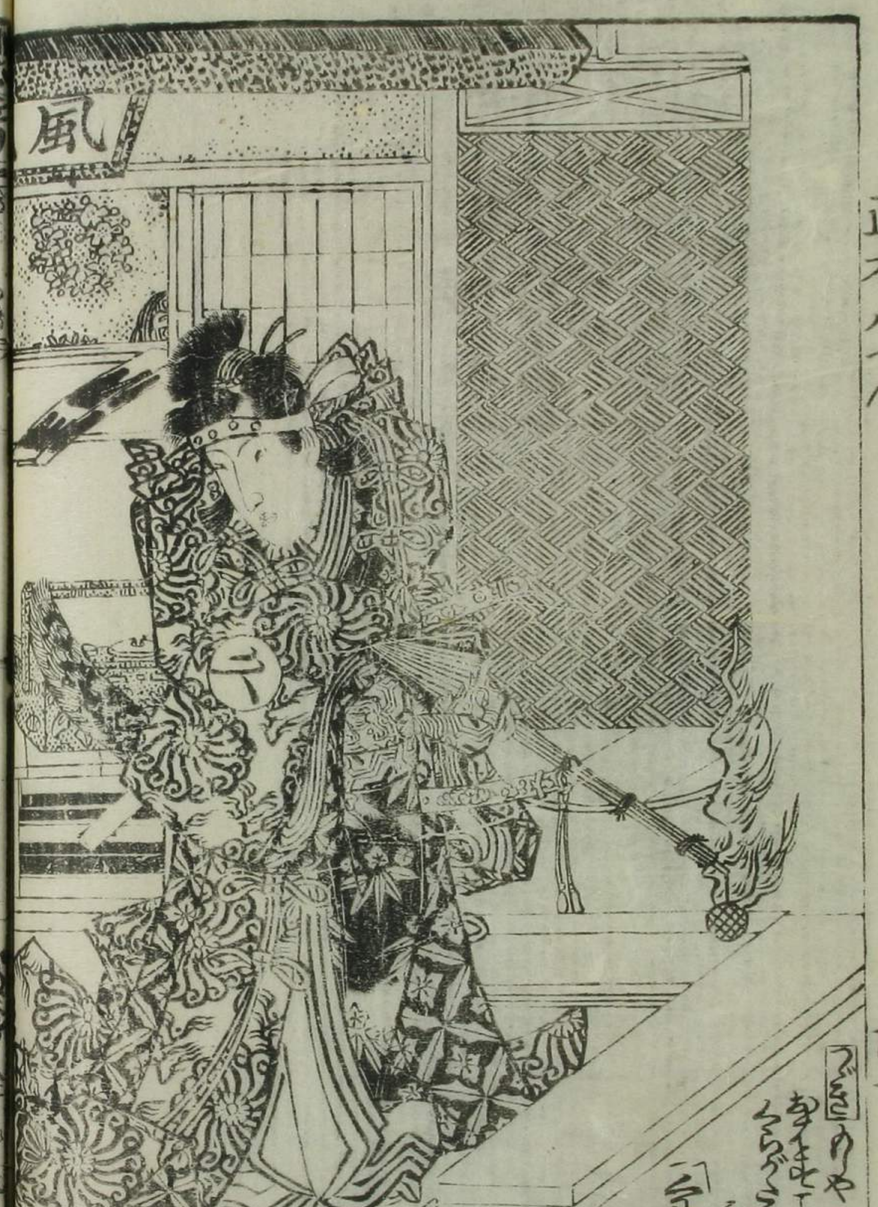
筆耕千形仲道

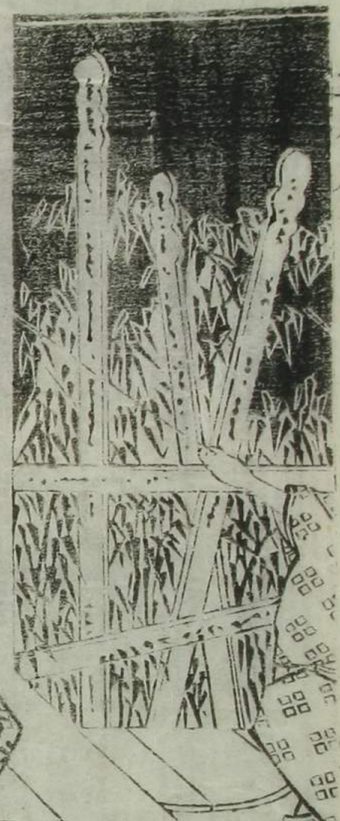
彫工江川留吉



魁


陳流


風



つぎは、ひろのびよ
ぐらのおさえろさ
れが、かしこまりさまそめ
さるのさまろさまのう
「よろこびりくおさまてハ
ろうくえんうまめえ
ところまでこえんえーそう
ろうまめえさのこのりう
のまたそれてり、ハまう
してそハおたそりうそう
ぎろうのちさうござう
さそハ人うのあめんでもう
さろこちの、さうござ
どのがそろうさうまつ
ろハーさまつ、ろう
ろうさうござうちも
小ところさんかんのよう
かえをめまんさ
ところのそのうれくさ
まさざめんろうまめとこ
ものひろとろうのとこ
をよんまこうさみはろ
くりとさざりをうえて
びりくりやろうろうめ
小さうちろいハ六の巻へ

六の巻からつゞき

「くさんほひとかのさと
ろまさかまたりそれ
のそんいさまめんげ
「ここやろえろうさんが
又ひんとめんげハ
ろうでろーいんのう
そろさうしてろうさん
こめそんろらうさん
ろまつもめをうた
ろハーうこさくれ
あのえそでこえで
ころのぶろハよくえる
ところぶそこらう
ろうさんごさんーそ
えれとのんそえんてころ
ろでかさんめハけて
ろうとえをひて
ろれらハめ
ろうめたろうう
あそんでおそなこみ
ひふくえれあとかの
とりがさめさのんな
かんさんこハやこそごさんよそ
ろのろうのんのごさうござう
ござさえハそろ

つゞく

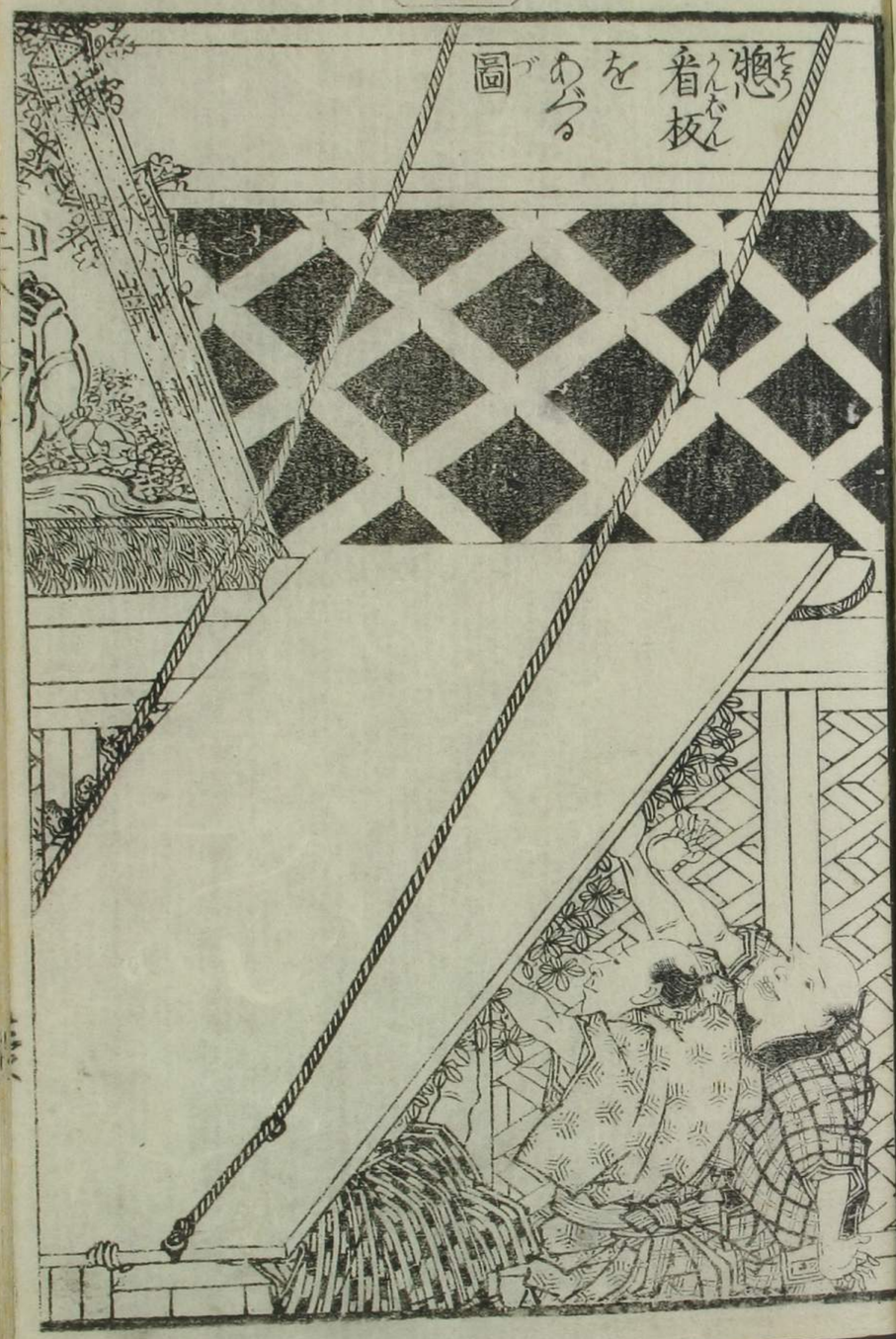
柳亭種彦作

歌川國貞画

後編筆耕　千形道友
彫工　江川留吉

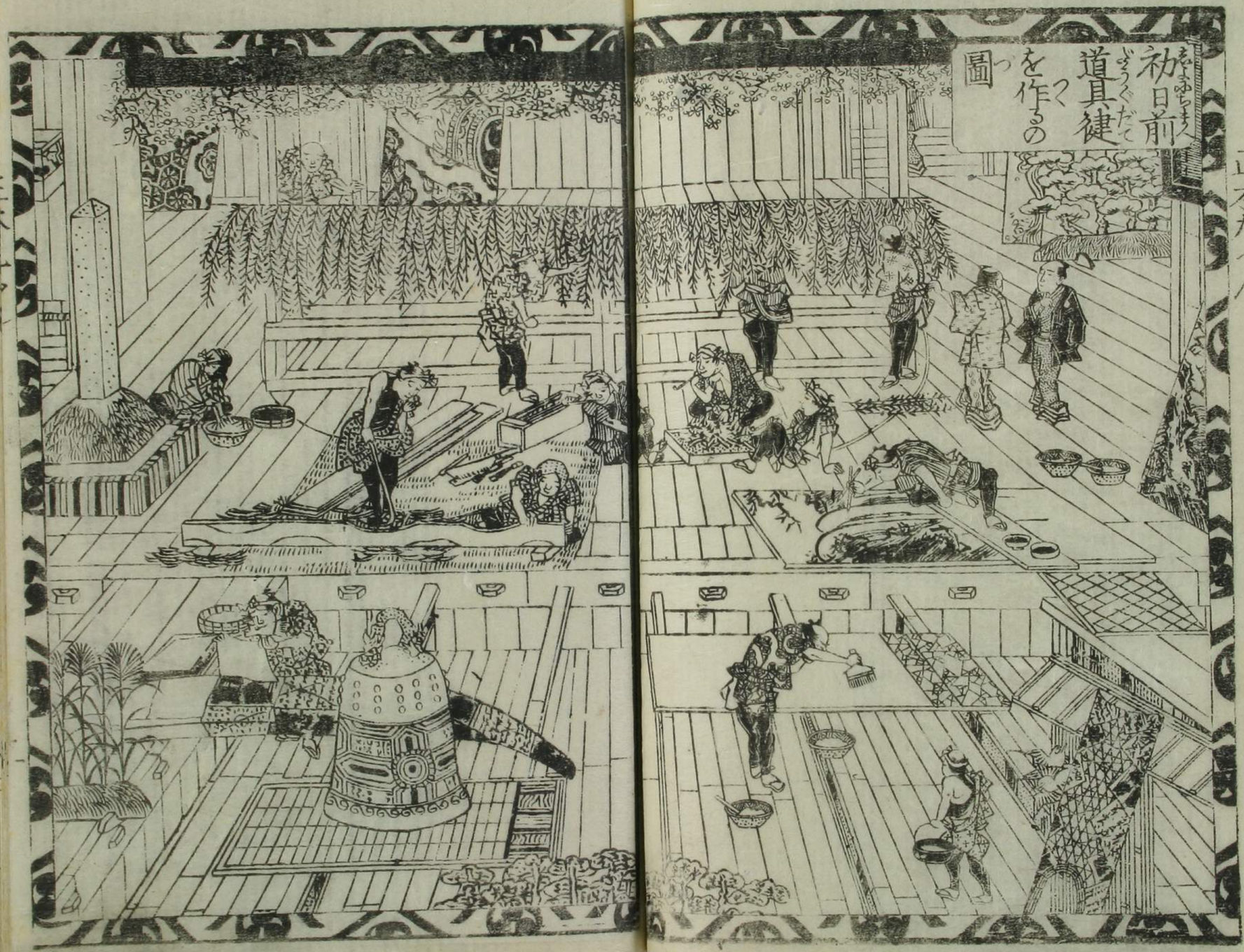
仙女香白の昼物の扇ぐ図

仙女香白粉の看板の絵



猩々看板をあぐる圖

初日前道具建を作るの圖

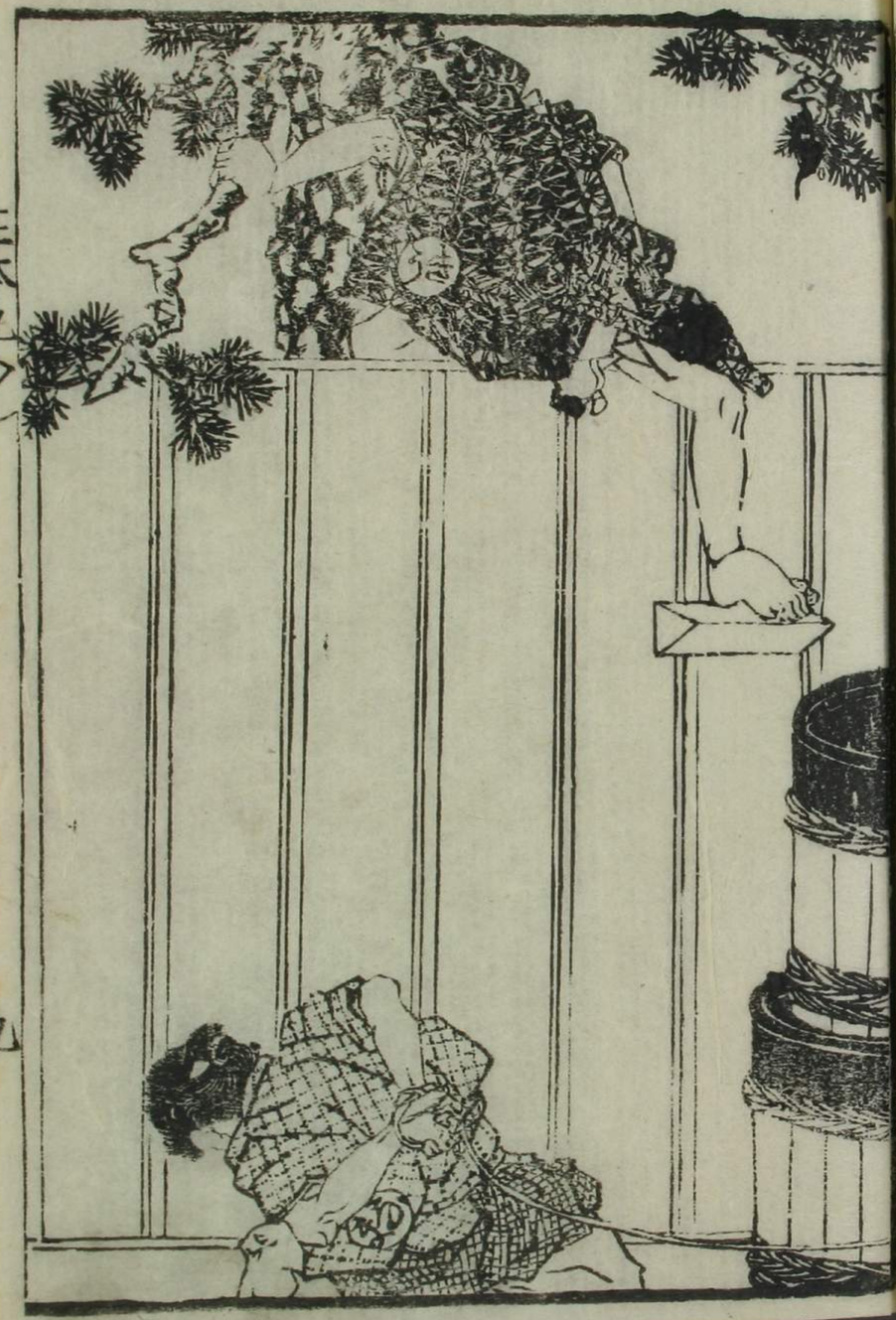


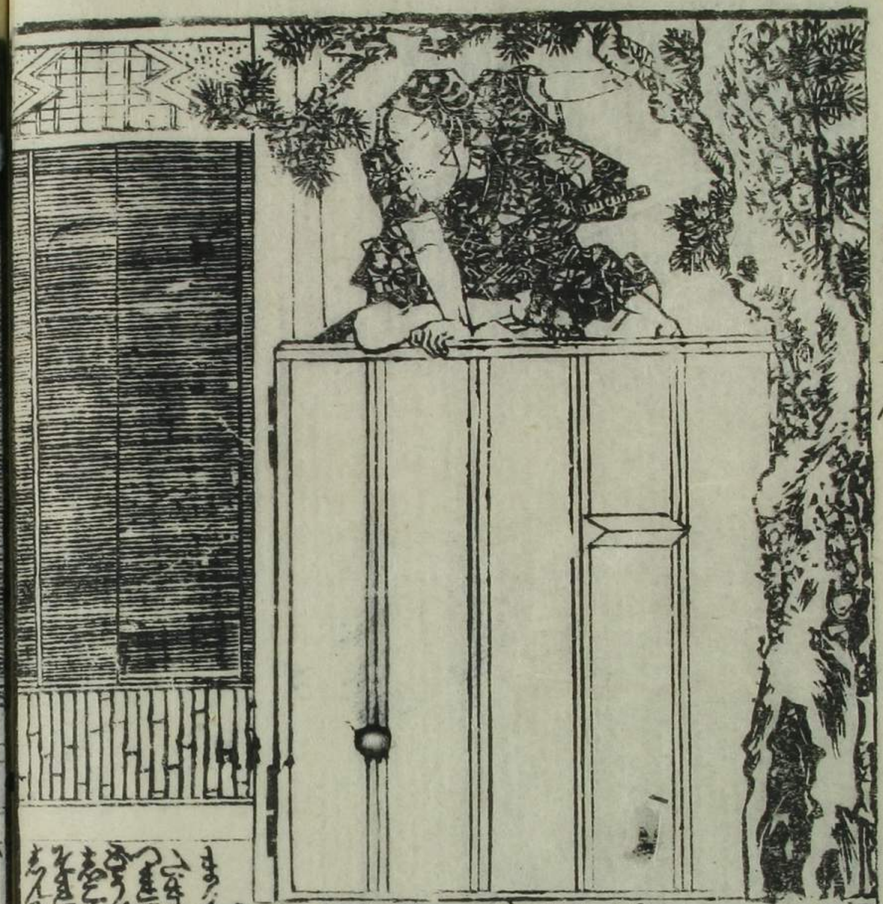
同樂屋(どうらくや)にて

役者(やくしゃ)ども
(おも)い〳〵
我(わが)当古(あたりふる)ふ
来(きた)るの圖(づ)

石坂のこてと
舞扇

詞への鳴物を変ところ





九つ半箱

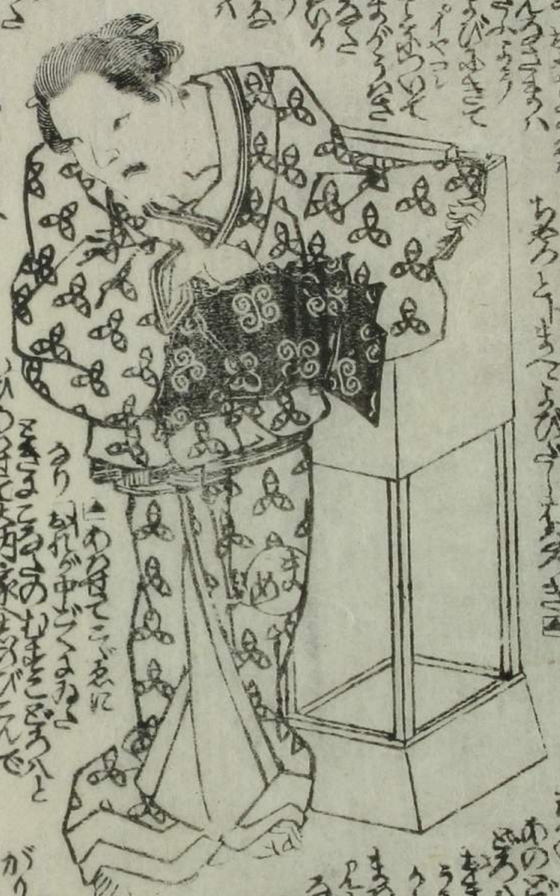
佐

御所極内

國貞画種彦作

筆耕　道友

下の十二こぞめ
つぶやきながらくいりゐけり
「うんがやをうーんとうーんとてのうらでつーでいのひつけてもとりふさふさふさふさんぞうーんとそんなめでできうめのくとうくうとうとうと



作

國貞画種彦作

西村屋新版

正本製八編 下

種彦作
國貞画

まぐれ模様
雛形屋の發行也
萬能金徳九とんぶ
冊子の残關之巻今の
草双紙ハ芝居乃
楽屋を画る初欠